

2015年3月期 上期決算説明会

 丸一鋼管株式会社

会長兼CEO 鈴木博之

I. 2015年3月期上期 連結決算概要	…	P. 2
II. 2015年3月期上期 単体決算概要	…	P. 12
III. 2015年3月期 業績予想	…	P. 20
IV. 第3次中期経営計画の進捗状況	…	P. 26
V. 丸一グループの特色	…	P. 51

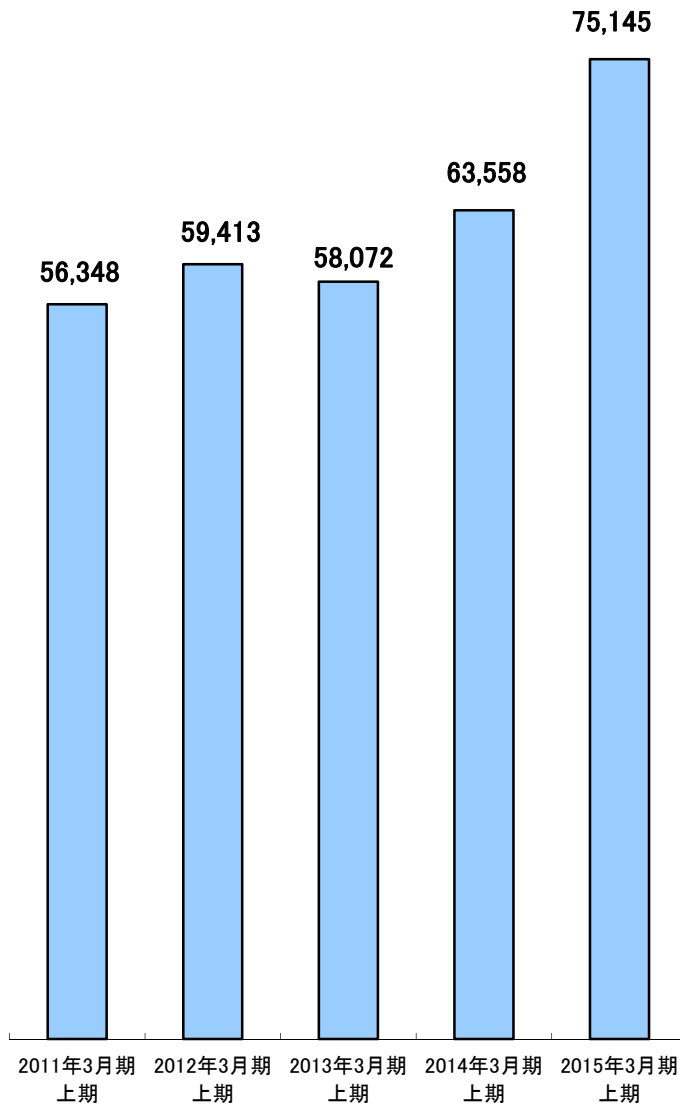
2014年11月11日

I . 2015年3月期上期 連結決算概要

連結営業成績

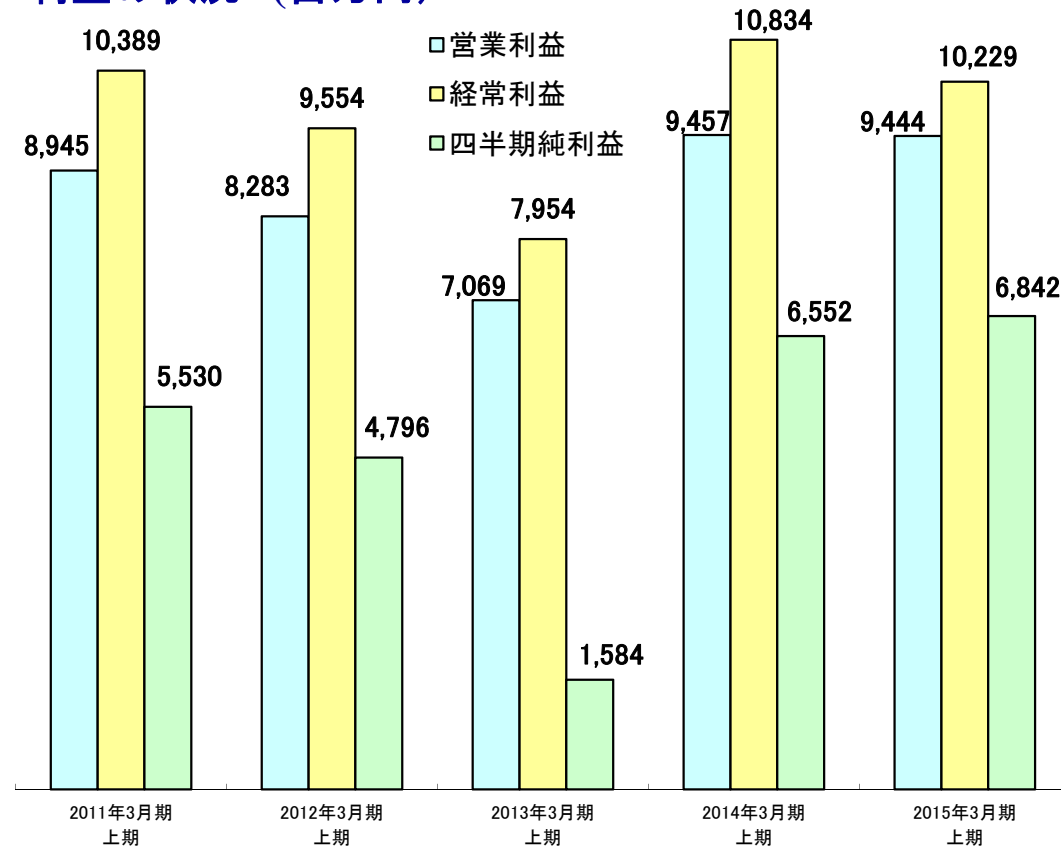
【単位:百万円】

売上の状況 (百万円)



	2014年3月期 上期実績	2015年3月期 上期実績	増減率	8月発表 予想	増減率
売上高	63,558	75,145	+18.2%	75,000	+0.2%
営業利益	9,457	9,444	▲0.1%	9,700	▲2.6%
経常利益	10,834	10,229	▲5.6%	10,400	▲1.6%
四半期純利益	6,552	6,842	+4.4%	6,900	▲0.8%

利益の状況 (百万円)



連結営業成績 損益計算書

	2011年3月期 上		2012年3月期 上		2013年3月期 上		2014年3月期 上		2015年3月期 上	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	56,348	100.0%	59,413	100.0%	58,072	100.0%	63,558	100.0%	75,145	100.0%
売上原価	42,384	75.2%	45,772	77.0%	45,788	78.8%	48,434	76.2%	59,469	79.1%
売上総利益	13,963	24.8%	13,640	23.0%	12,284	21.2%	15,123	23.8%	15,675	20.9%
販売費及び一般管理費	5,017	8.9%	5,357	9.0%	5,214	9.0%	5,665	8.9%	6,231	8.3%
営業利益	8,945	15.9%	8,283	13.9%	7,069	12.2%	9,457	14.9%	9,444	12.6%
営業外収益	2,089	3.7%	1,933	3.3%	1,190	2.0%	1,683	2.6%	1,327	1.8%
営業外費用	645	1.1%	661	1.1%	305	0.5%	306	0.5%	541	0.7%
経常利益	10,389	18.4%	9,554	16.1%	7,954	13.7%	10,834	17.0%	10,229	13.6%
特別利益	1,810	3.2%	993	1.7%	334	0.6%	2	0.0%	740	1.0%
特別損失	983	1.7%	1,007	1.7%	5,945	10.2%	55	0.1%	14	0.0%
税金等調整前四半期純利益	11,216	19.9%	9,541	16.1%	2,343	4.0%	10,781	17.0%	10,955	14.6%
法人税等	4,695	8.3%	4,390	7.4%	702	1.2%	3,981	6.3%	4,110	5.5%
少数株主利益	990	1.8%	353	0.6%	56	0.1%	246	0.4%	2	0.0%
四半期純利益	5,530	9.8%	4,796	8.1%	1,584	2.7%	6,552	10.3%	6,842	9.1%

連結営業成績 損益計算書 売上・利益の増減要因

【単位：億円】・売上高

	2014年3月期 上期	2015年3月期 上期	差 額
売 上 高	635.6	751.5	+115.9
営 業 利 益	94.6	94.4	▲0.1
(受取配当金・債券利息等)	7.2	6.9	▲0.3
(持分法による投資利益)	1.5	2.5	+1.0
(為替差益)	4.8	0.0	▲4.8
(その他営業外収入)	3.4	3.8	+0.5
(支払利息)	▲0.7	▲1.5	▲0.8
(為替差損)	0.0	▲1.7	▲1.7
(その他営業外費用)	▲2.3	▲2.2	+0.1
経 常 利 益	108.3	102.3	▲6.0
(投資有価証券売却益)	0.0	7.2	+7.2
(その他特別利益)	0.0	0.2	+0.2
(固定資産除去損)	▲0.5	▲0.1	+0.3
(その他特別損失)	▲0.1	▲0.0	+0.1
税金等調整前 四半期純利益	107.8	109.6	+1.7
(法人税等)	▲39.8	▲41.1	▲1.3
(少数株主利益)	▲2.5	▲0.0	+2.4
四 半 期 純 利 益	65.5	68.4	+2.9

・売上高

➢ 単体要因	+42.8億円
➢ MAC	+1.9億円
➢ MKK USA INC.	+15.2億円
➢ MMX	+4.4億円
➢ SUNSCO(含Hanoi)	+51.7億円
➢ KUMA	+2.8億円
➢ その他国内子会社	+63.3億円
➢ 連結消去・組換仕訳	▲63.3億円

・営業利益

➢ 単体要因	▲0.2億円
➢ MAC	+0.6億円
➢ MKK USA INC.	+0.6億円
➢ MMX	+0.0億円
➢ SUNSCO(含Hanoi)	▲2.0億円
➢ KUMA	▲0.2億円
➢ アルファメタル	+1.4億円
➢ その他国内子会社	+1.5億円
➢ 連結消去・組換仕訳	▲2.0億円

・経常利益

➢ 営業利益より	▲0.1億円
➢ 持分法投資損利益	+1.0億円
(セイケイ▲0.0億円・ウィニング+0.9億円・MMP+0.4億円・I STW▲0.3億円)	
➢ その他	▲6.9億円

・税金等調整前四半期純利益

➢ 経常利益より	▲6.0億円
➢ 投資有価証券売却損益	+7.2億円
➢ 固定資産除去損	+0.3億円
➢ その他	+0.3億円

・四半期純利益

➢ 税金等調整前四半期純利益より	+1.7億円
➢ 法人税等・少数株主利益	+1.2億円

連結営業成績 損益計算書 8月開示(予想)との差額主要因

【単位:億円】

	2014年8月7日 開示	2015年3月期 上期実績	差額
売上高	750.0	751.5	+1.5
営業利益	97.0	94.4	▲2.6
経常利益	104.0	102.3	▲1.7
四半期純利益	69.0	68.4	▲0.6

・売上高

➢ 単体要因	▲6.1億円
➢ MAC	▲0.0億円
➢ MKK USA INC.	+2.7億円
➢ MMX	▲0.0億円
➢ SUNSCO(含Hanoi)	+0.9億円
➢ KUMA	+1.8億円
➢ アルファメタル	▲1.2億円
➢ 丸一鋼板	+0.0億円
➢ 連結調整(子会社向け機械売上他)	+3.4億円

・営業利益

➢ 丸一単体要因	▲3.7億円
➢ 海外子会社	+0.0億円
➢ 国内子会社	+1.5億円
➢ 連結調整	▲0.4億円

・経常利益

➢ 丸一単体要因	▲4.3億円
➢ 海外子会社	▲0.4億円
➢ 国内子会社	+1.6億円
➢ 持分法適用関連会社	▲0.0億円
➢ 連結調整	+1.5億円

・四半期純利益

➢ 丸一単体要因	▲0.9億円
➢ 海外子会社	▲0.5億円
➢ 国内子会社	+1.0億円
➢ 持分法適用関連会社	▲0.0億円
➢ 連結調整	▲0.2億円

連結営業成績 主要会社8月開示(予想)と実績との差額

2014年8月 開示上期予想

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
丸一鋼管	486.0	85.0	101.0	70.0
MAC	34.9	2.4	2.5	1.6
MKK USA	63.8	▲1.2	▲1.3	▲1.0
MMX	4.4	0.0	0.0	0.0
SUNSCO (含Hanoi)	134.4	▲0.4	▲2.9	▲3.4
KUMA	16.3	1.3	1.4	0.9
アルファメタル	19.3	1.2	1.2	0.8
その他 国内子会社	9.4	7.5	10.5	6.9
持分法適用 関連会社			2.6	2.6
のれん代		▲0.4		
連結調整	▲18.4	1.6	▲11.0	▲9.4
合計	750.0	97.0	104.0	69.0

2015年3月期 上期実績

【単位:億円】

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
		差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	479.9	▲6.1	81.3	▲3.7	96.7	▲4.3	69.1	▲0.9
MAC	34.9	▲0.0	2.4	▲0.0	2.5	▲0.0	1.5	▲0.1
MKK USA	66.5	+2.7	▲1.3	▲0.1	▲1.3	▲0.0	▲1.1	▲0.1
MMX	4.4	▲0.0	0.0	+0.0	0.0	+0.0	0.0	+0.0
SUNSCO (含Hanoi)	135.4	+0.9	▲0.2	+0.2	▲3.1	▲0.1	▲3.4	▲0.1
KUMA	18.0	+1.8	1.2	▲0.1	1.1	▲0.3	0.7	▲0.2
アルファメタル	18.0	▲1.2	1.7	+0.5	1.8	+0.6	1.1	+0.3
その他 国内子会社	9.4	+0.0	8.4	+0.9	11.5	+1.0	7.6	+0.7
持分法適用 関連会社					2.5	▲0.0	2.5	▲0.0
のれん代			▲0.4	▲0.0				
連結調整	▲15.0	+3.4	1.2	▲0.4	▲9.5	+1.5	▲9.6	▲0.2
合計	751.5	+1.5	94.4	▲2.6	102.3	▲1.7	68.4	▲0.6

連結営業成績 貸借対照表 前期対比 【単位: 億円】

	2014年3月期 期末	2015年3月期 上期末	差額
流動資産	1,463	1,497	+34
(現金及び預金)	639	663	+24
(受取手形及び売掛金)	331	345	+14
(棚卸資産)	252	253	+1
(その他)	241	235	▲5
固定資産	1,542	1,564	+22
(有形固定資産)	816	824	+7
(無形固定資産)	17	17	+0
(投資その他の資産)	708	723	+15
資産合計	3,005	3,061	+56
流動負債	375	390	+15
(支払手形及び買掛金)	196	215	+18
(短期借入金)	67	70	+3
(未払法人税等)	44	36	▲8
(その他)	67	69	+1
固定負債	205	201	▲4
負債合計	580	591	+11
純資産	2,425	2,470	+45
(資本金)	96	96	+0
(資本剰余金)	158	158	+0
(利益剰余金)	2,200	2,229	+29
(自己株式)	▲205	▲205	▲0
(その他有価証券評価差額)	91	113	+22
(為替調整勘定)	▲16	▲26	▲10
(退職給付にかかる調整累計)	▲1	▲0	+0
(新株予約権)	1	1	+0
(少数株主持分)	101	105	+4
負債純資産合計	3,005	3,061	+56

・流動資産

- 現金及び預金・・・+24.2億円
 - ・国内+35.9億円・海外▲14.9億円・連結調整+3.2億円
- 受取手形及び売掛金・・・+14.2億円
 - ・国内+23.6億円・海外+5.2億円・連結調整▲14.7億円
- 棚卸資産・・・+0.9億円
 - ・国内+10.1億円・海外▲10.7億円・連結調整+1.5億円
- その他・・・▲5.3億円
 - ・子会社NCD+20.9億円・その他▲22.5億円・連結調整▲3.6億円

・固定資産

- 有形固定資産・・・+7.4億円
 - ・国内+6.7億円・海外+1.2億円・連結調整▲0.4億円
- 無形固定資産・・・+0.2億円
 - ・丸一▲0.2億円・子会社+0.8億円・連結調整▲0.4億円
- 投資その他の資産・・・+14.5億円
 - ・国内+31.9億円・海外▲1.8億円・連結調整▲15.6億円

・流動負債

- 支払手形及び買掛金・・・+18.5億円
 - ・国内+41.7億円・海外▲8.7億円・連結調整▲14.6億円
- 短期借入金・・・+3.1億円
 - ・国内+0.8億円・海外+0.7億円・連結調整+1.7億円
- その他・・・+1.5億円
 - ・丸一▲6.0億円・子会社+8.0億円・連結調整▲0.6億円

・固定負債

- 固定負債・・・▲4.1億円
 - ・国内+11.7億円・海外▲17.4億円・連結調整+1.6億円

・純資産

- 利益剰余金・・・+28.6億円
 - ・国内+30.6億円・海外▲6.4億円・連結調整+4.4億円
- その他有価証券評価差額金・・・+22.1億円
 - ・丸一+26.3億円・連結調整▲4.2億円

連結経営成績 セグメント別

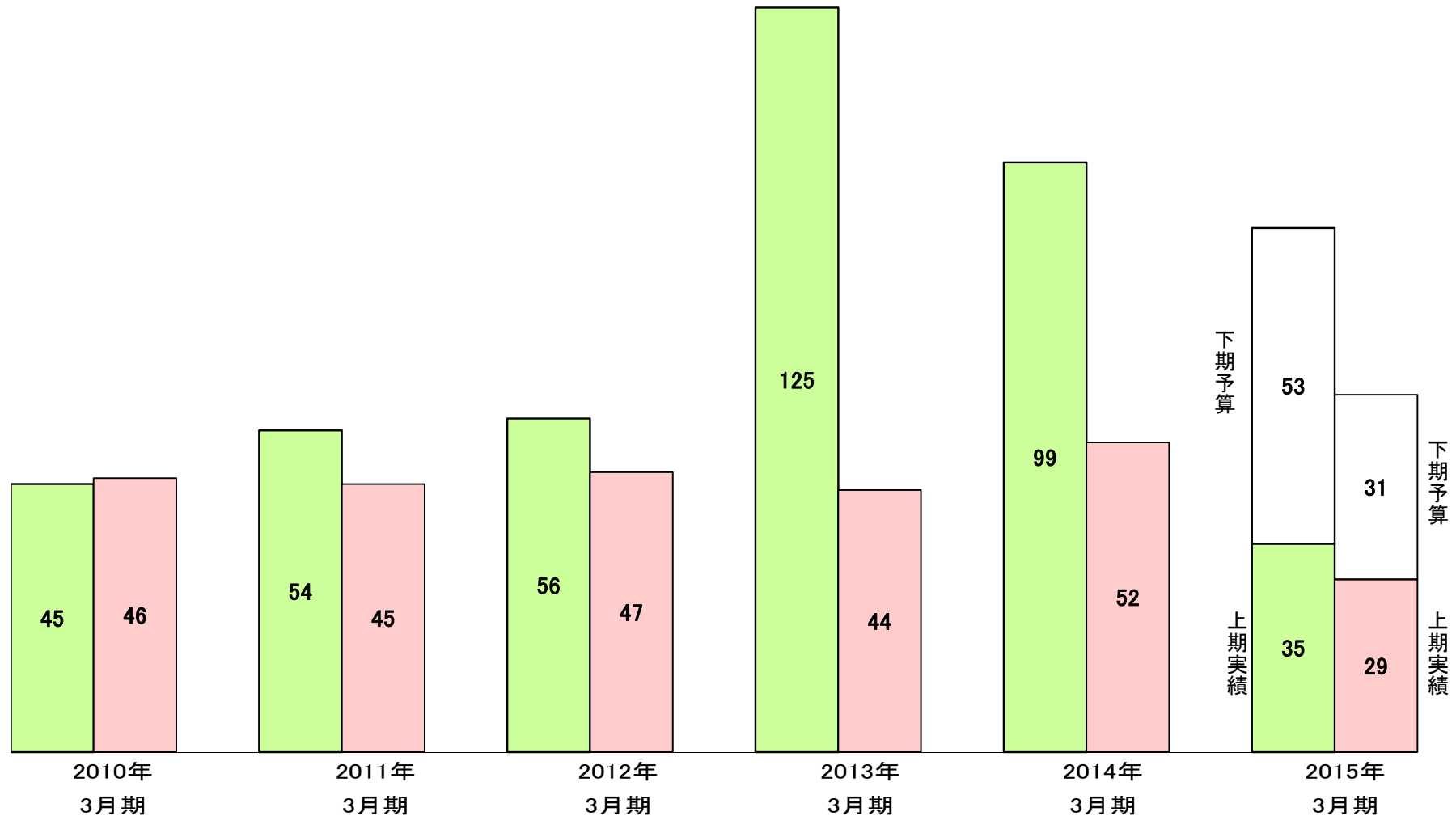
【単位：百万円】

	2014年3月期上期				2015年3月期上期			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日 本	45,340	71.3%	9,160	96.9%	49,663	66.1%	9,204	97.5%
北 米	8,430	13.3%	▲16	▲0.2%	10,573	14.1%	110	1.2%
ア ジ ア	9,870	15.5%	317	3.4%	15,319	20.4%	67	0.7%
調 整 額	▲82	▲0.1%	▲2	▲0.1%	▲411	▲0.6%	61	0.6%
合 計	63,558	100.0%	9,457	100.0%	75,145	100.0%	9,444	100.0%

連結営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

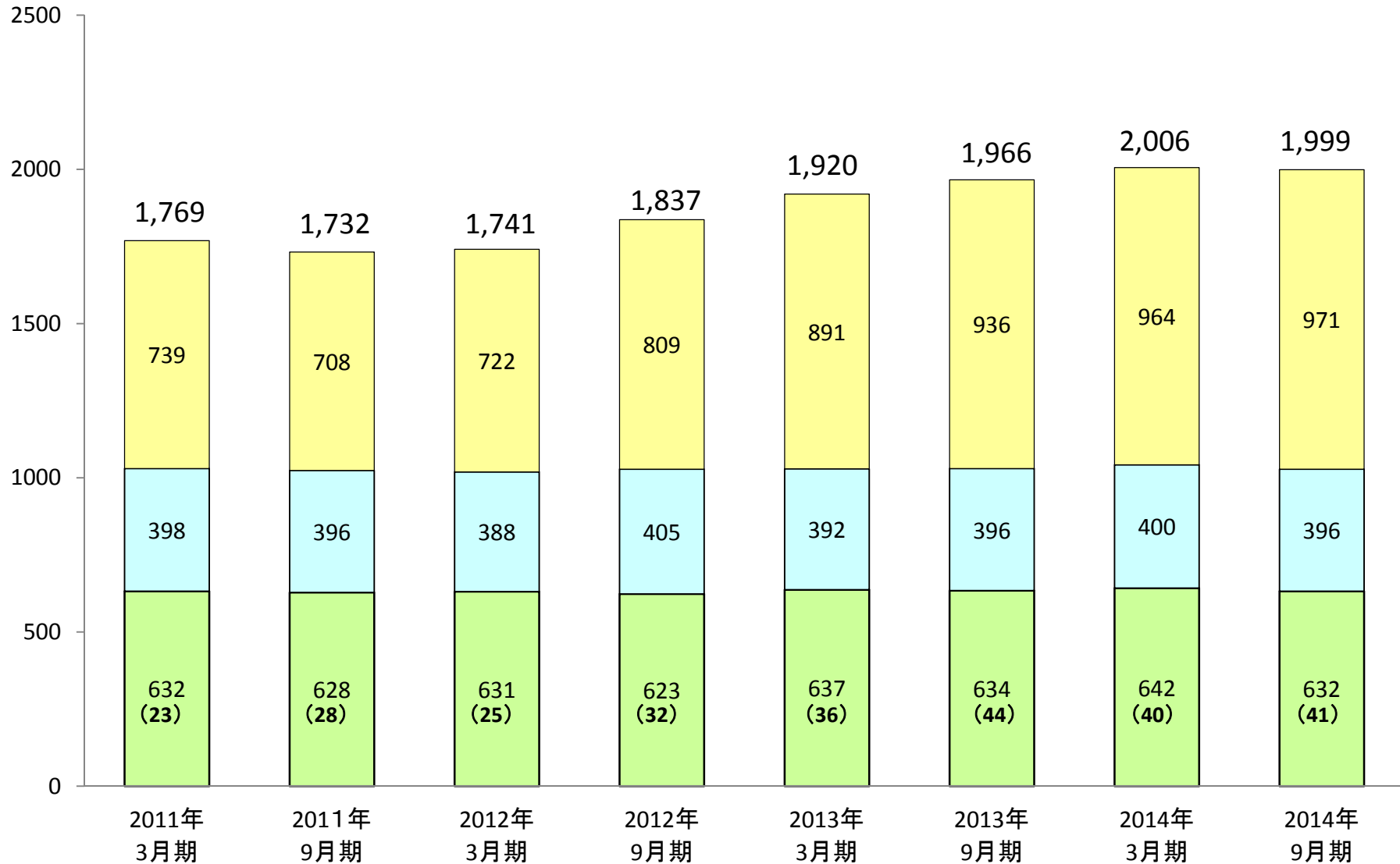
【単位：億円】

□ 減価償却費
□ 設備投資額



連結営業成績 従業員数の推移 (単位:人)

: 海外連結子会社
 : 国内連結子会社
 : 丸一鋼管
 ()内は海外出向者

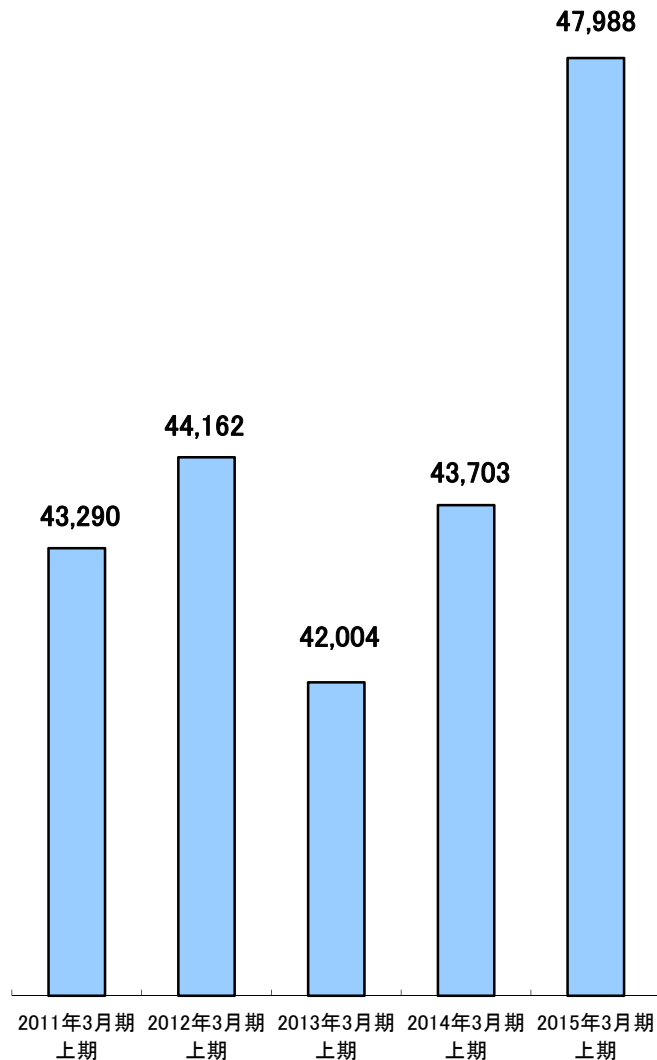


Ⅱ. 2015年3月期上期 単体決算概要

単体経営成績

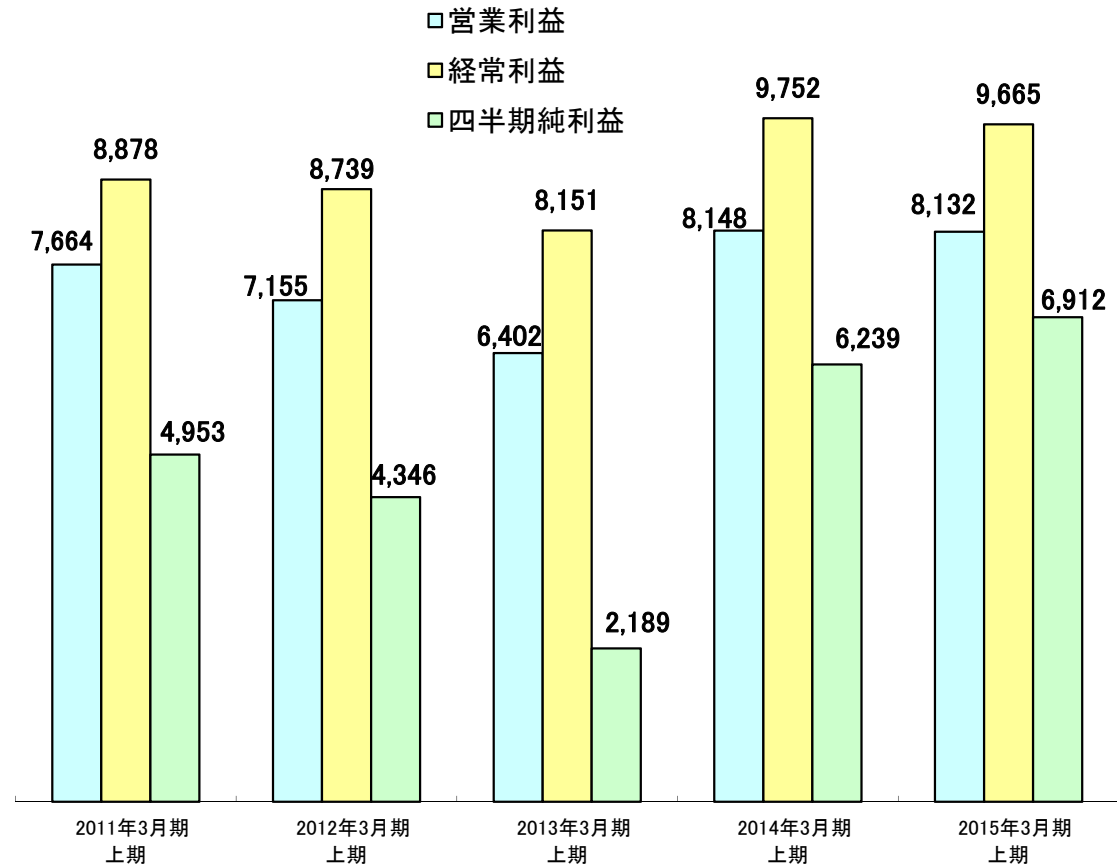
【単位：百万円】

売上の状況 (百万円)



	2014年3月期 上期実績	2015年3月期 上期実績	増減率	8月発表 予想	増減率
売上高	43,703	47,988	+9.8%	48,600	▲1.3%
営業利益	8,148	8,132	▲0.2%	8,500	▲4.3%
経常利益	9,752	9,665	▲0.9%	10,100	▲4.3%
四半期純利益	6,239	6,912	+10.8%	7,000	▲1.2%

利益の状況 (百万円)



単体経営成績 損益計算書

	2011年3月期 上		2012年3月期 上		2013年3月期 上		2014年3月期 上		2015年3月期 上	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	43,290	100.0%	44,162	100.0%	42,004	100.0%	43,703	100.0%	47,988	100.0%
売上原価	32,948	76.1%	34,088	77.2%	32,634	77.7%	32,468	74.3%	36,678	76.4%
売上総利益	10,341	23.9%	10,073	22.8%	9,369	22.3%	11,235	25.7%	11,309	23.6%
販売費及び一般管理費	2,677	6.2%	2,918	6.6%	2,966	7.1%	3,086	7.1%	3,176	6.6%
営業利益	7,664	17.7%	7,155	16.2%	6,402	15.2%	8,148	18.6%	8,132	16.9%
営業外収益	1,512	3.5%	1,888	4.3%	1,976	4.7%	1,817	4.2%	1,725	3.6%
営業外費用	298	0.7%	304	0.7%	228	0.5%	213	0.5%	192	0.4%
経常利益	8,878	20.5%	8,739	19.8%	8,151	19.4%	9,752	22.3%	9,665	20.1%
特別利益	96	0.2%	63	0.1%	334	0.8%	1	0.0%	725	1.5%
特別損失	980	2.3%	969	2.2%	5,942	14.1%	54	0.1%	12	0.0%
税金等調整前四半期純利益	7,994	18.5%	7,833	17.7%	2,543	6.1%	9,699	22.2%	10,377	21.6%
法人税等	3,041	7.0%	3,487	7.9%	354	0.8%	3,460	7.9%	3,465	7.2%
四半期純利益	4,953	11.4%	4,346	9.8%	2,189	5.2%	6,239	14.3%	6,912	14.4%

単体営業成績 損益計算書 売上・利益の増減要因

【単位：億円】

	2014年3月期 上期	2015年3月期 上期	差 額
売 上 高	437.0	479.9	+42.8
営 業 利 益	81.5	81.3	▲0.2
(受取配当金・債券利息等)	14.2	12.8	▲1.3
(ロイヤリティ収入)	0.6	0.8	+0.1
(その他営業外収益)	3.4	3.7	+0.3
(営業外費用)	▲2.1	▲1.9	+0.2
経 常 利 益	97.5	96.7	▲0.9
(有価証券売却益)	0.0	7.2	+7.2
(その他特別利益)	0.0	0.0	+0.0
(有価証券売却損)	▲0.1	0.0	+0.1
(固定資産除去費・撤去費)	▲0.5	▲0.1	+0.3
(その他特別損失)	▲0.0	0.0	+0.0
税金等調整前 四半期純利益	97.0	103.8	+6.8
(法人税等)	▲34.6	▲34.7	▲0.0
四半期純利益	62.4	69.1	+6.7

・売上高

- 国内パイプ販売数量 +11.3億円
- 国内パイプ販売単価 +20.8億円
- 帯鋼(外販)数量 ▲0.2億円
- 帯鋼(外販)単価 +3.0億円
- 輸出パイプ、その他 +7.9億円

・営業利益

- 総販売数量 +3.0億円
- 総販売単価 +24.9億円
- 売上原価 ▲28.4億円
- 販売費および一般管理費 +0.3億円

・経常利益

- 営業利益より ▲0.2億円
- 受取配当金・債券利息等 ▲1.3億円
- その他営業外収益・営業外費用 +0.6億円

・税引前利益

- 経常利益より ▲0.9億円
- 投資有価証券売却益 +7.2億円
- 投資有価証券売却損 +0.1億円
- 固定資産除去費・撤去費 +0.3億円
- その他特別利益・特別損失 +0.0億円

・四半期純利益

- 税引前利益より +6.8億円
- 法人税等 ▲0.0億円

単体営業成績 損益計算書 8月開示(予想)との差額主要因

【単位：億円】

	2014年8月7日 開示	2015年3月期 上期実績	差 額
売 上 高	486.0	479.9	▲6.1
営 業 利 益	85.0	81.3	▲3.7
経 常 利 益	101.0	96.7	▲4.3
税金等調整前 四半期純利益	107.5	103.8	▲3.8
四半期純利益	70.0	69.1	▲0.9

・売上高

- 国内パイプ販売数量 ▲3.6億円
- 国内パイプ販売単価 ▲2.0億円
- 帯鋼販売数量 +0.3億円
- 帯鋼販売単価 ▲0.0億円
- 輸出パイプ +0.0億円
- 特品事業部 +0.2億円
- 関連帯鋼 ▲0.6億円
- 機械その他 ▲0.4億円

・営業利益

- 全体販売数量要因 ▲0.4億円
- 全体販売単価要因 ▲3.8億円
- 売上原価 ▲0.5億円
- 販売費及び一般管理費 +1.1億円

・経常利益

- 営業利益より ▲3.7億円
- 受取配当金・有価証券利息等 ▲0.0億円
- その他営業外収益 ▲0.7億円
- 営業外費用 +0.1億円

・税引前利益

- 経常利益より ▲4.3億円
- 投資有価証券売却益 +0.4億円
- 固定資産除去損 +0.3億円
- 有価証券売却損 +0.0億円
- その他 ▲0.1億円

・当期利益

- 税引前利益より ▲3.8億円
- 法人税等 +2.9億円

単体営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位:億円】

	2014年3月期 期 末	2015年3月期 上 期 末	差 額
流 動 資 産	879	902	+23
(現 金 及 び 預 金)	397	432	+35
(受 取 手 形 及 び 売 掛 金)	293	299	+6
(棚 卸 資 産)	101	108	+7
(そ の 他)	88	64	▲25
固 定 資 産	1,327	1,361	+34
(有 形 固 定 資 産)	432	435	+3
(無 形 固 定 資 産)	1	1	▲0
(投 資 そ の 他 の 資 産)	894	925	+32
資 産 合 計	2,206	2,263	+58
流 動 負 債	225	213	▲12
(支 払 手 形 及 び 買 掛 金)	135	137	+2
(未 払 法 人 税 等)	40	33	▲8
(そ の 他)	49	44	▲6
固 定 負 債	59	71	+12
負 債 合 計	283	284	+1
純 資 産	1,922	1,979	+57
(資 本 金)	96	96	+0
(資 本 剰 余 金)	146	146	+0
(利 益 剰 余 金)	1,805	1,835	+30
(自 己 株 式)	▲205	▲205	▲0
(その他有価証券評価差額)	79	105	+26
(新 株 予 約 権)	1	1	+0
負 債 純 資 産 合 計	2,206	2,263	+58

・流動資産

- 現金及び預金・・・+34.6億円
 - ・税前利益+103.8億円
 - ・減価償却+10.0億円
 - ・設備投資▲12.9億円
 - ・関係会社株式▲3.3億円
 - ・株式関連+39.6億円
 - ・債券関連▲27.9億円
 - ・配当・納税▲81.4億円
 - ・その他▲23.3億円
 - ・NCDより+30.0億円
- 受取手形及び売掛金・・・+6.3億円
 - ・受取手形+0.2億円
 - ・売掛金+6.1億円
- 棚卸資産・7.1億円
 - ・製品+3.3億円
 - ・原材料+3.8億円
 - ・貯蔵品他+0.0億円
- その他・・・▲24.6億円
 - ・NCD▲30.0億円
 - ・その他+5.4億円

・固定資産

- 有形固定資産・・・+2.9億円
 - ・新規投資+12.9億円
 - ・減価償却 ▲10.0億円
- 無形固定資産
 - ・コンピュータシステム償却分 ▲0.2億円
- 投資その他の資産・・・+31.6億円
 - ・評価差額+40.1億円
 - ・株式関係▲39.6億円
 - ・関係会社株式+3.3億円
 - ・債券関係+27.5億円
 - ・その他+0.3億円

・流動負債

- 支払手形及び買掛金・・・+2.3億円
 - ・支払手形 ▲0.9億円
 - ・買掛金+3.2億円
- その他・・・▲6.0億円
 - ・設備関連未払金▲4.9億円
 - ・設備手形▲8.6億円
 - ・その他+7.5億円

・固定負債

- 固定負債・・・+12.4億円
 - ・退職給付引当金▲2.6億円
 - ・繰延税金固定負債 他+14.9億円

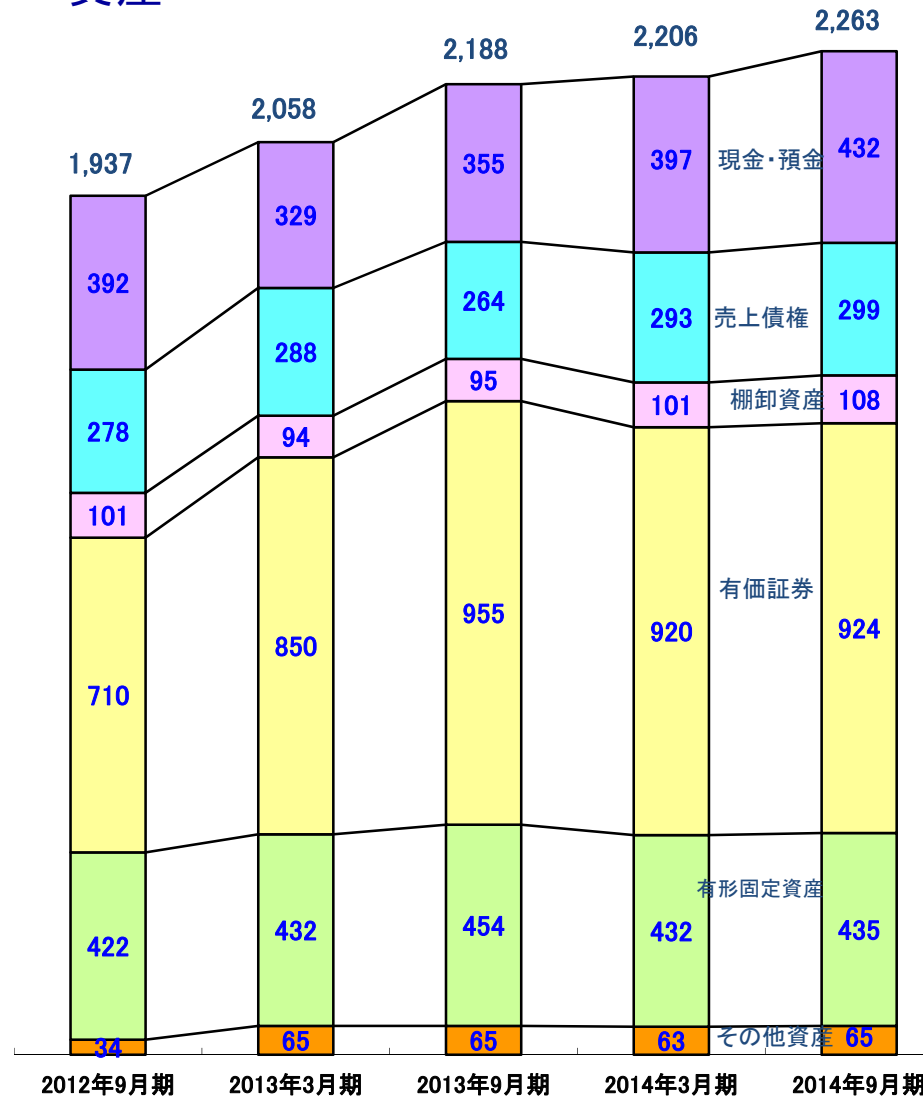
・純資産

- 利益剰余金・・・+30.2億円
 - ・当期純利益+69.1億円
 - ・配当金 ▲41.1億円
 - ・退職給付引当金調整+2.2億円
- 自己株式・・・▲0.0億円
 - ・端株取引▲0.0億円
- その他有価証券評価差額金・・・+26.3億円
 - ・債券+0.6億円
 - ・上場株式+25.1億円
 - ・海外上場株式+0.6億円

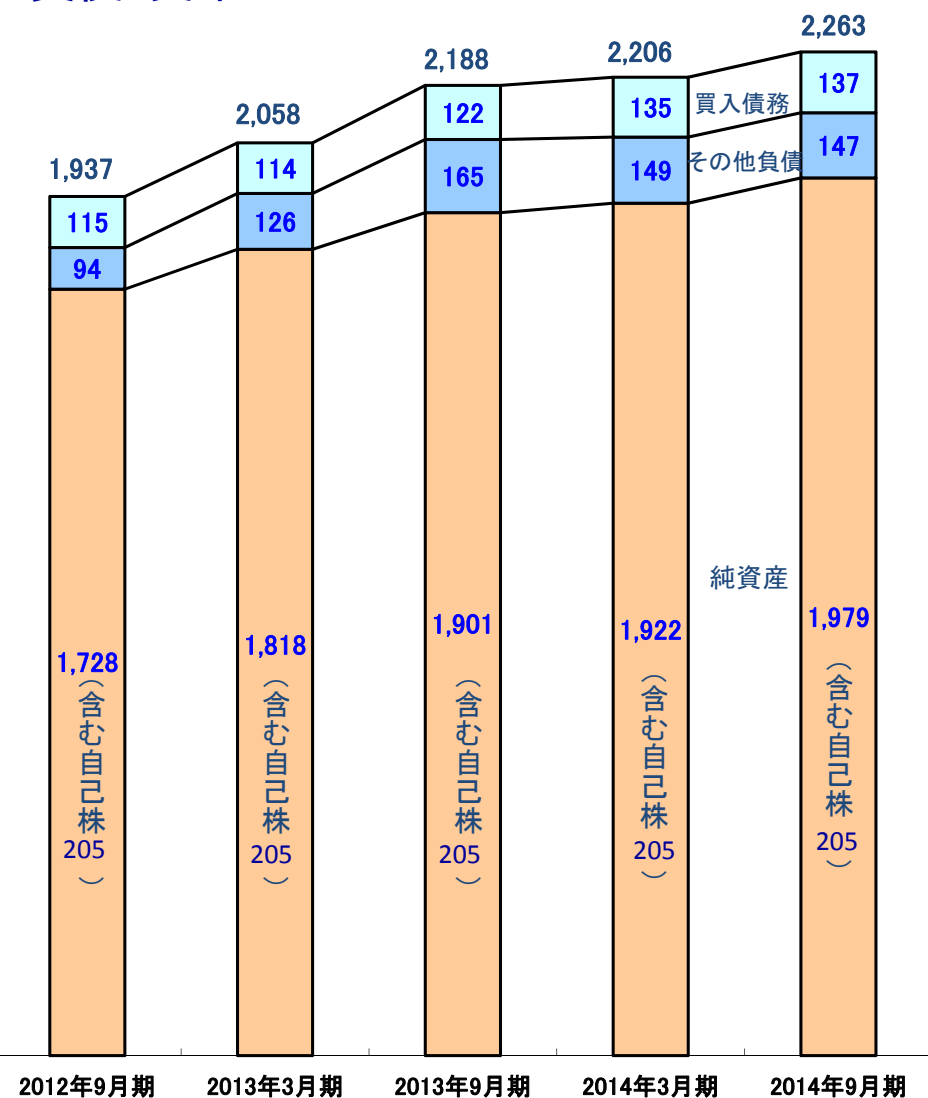
単体営業成績 貸借対照表の推移

【単位：億円】

資産



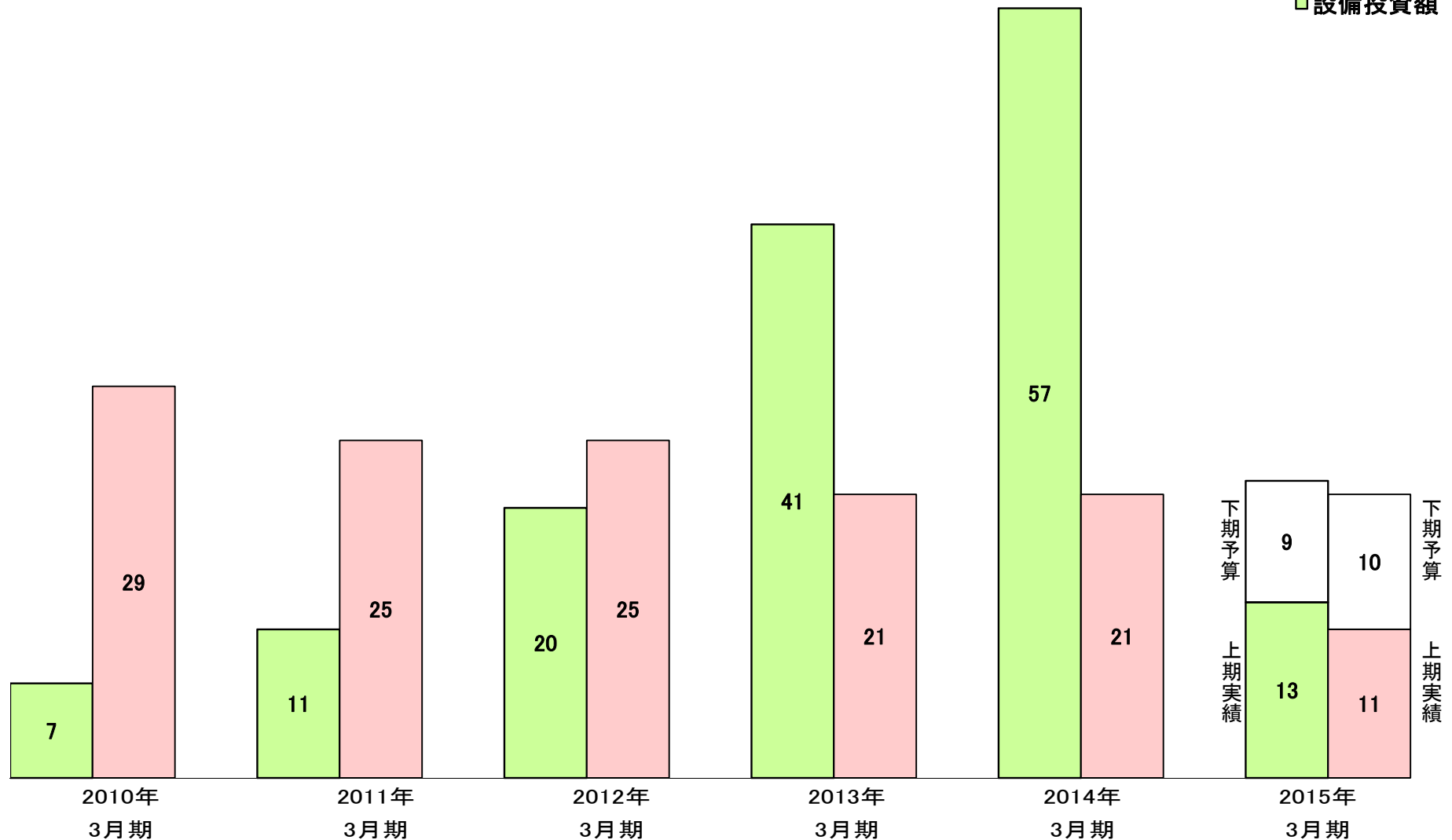
負債・資本



単体営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

【単位：億円】

□ 減価償却費
□ 設備投資額



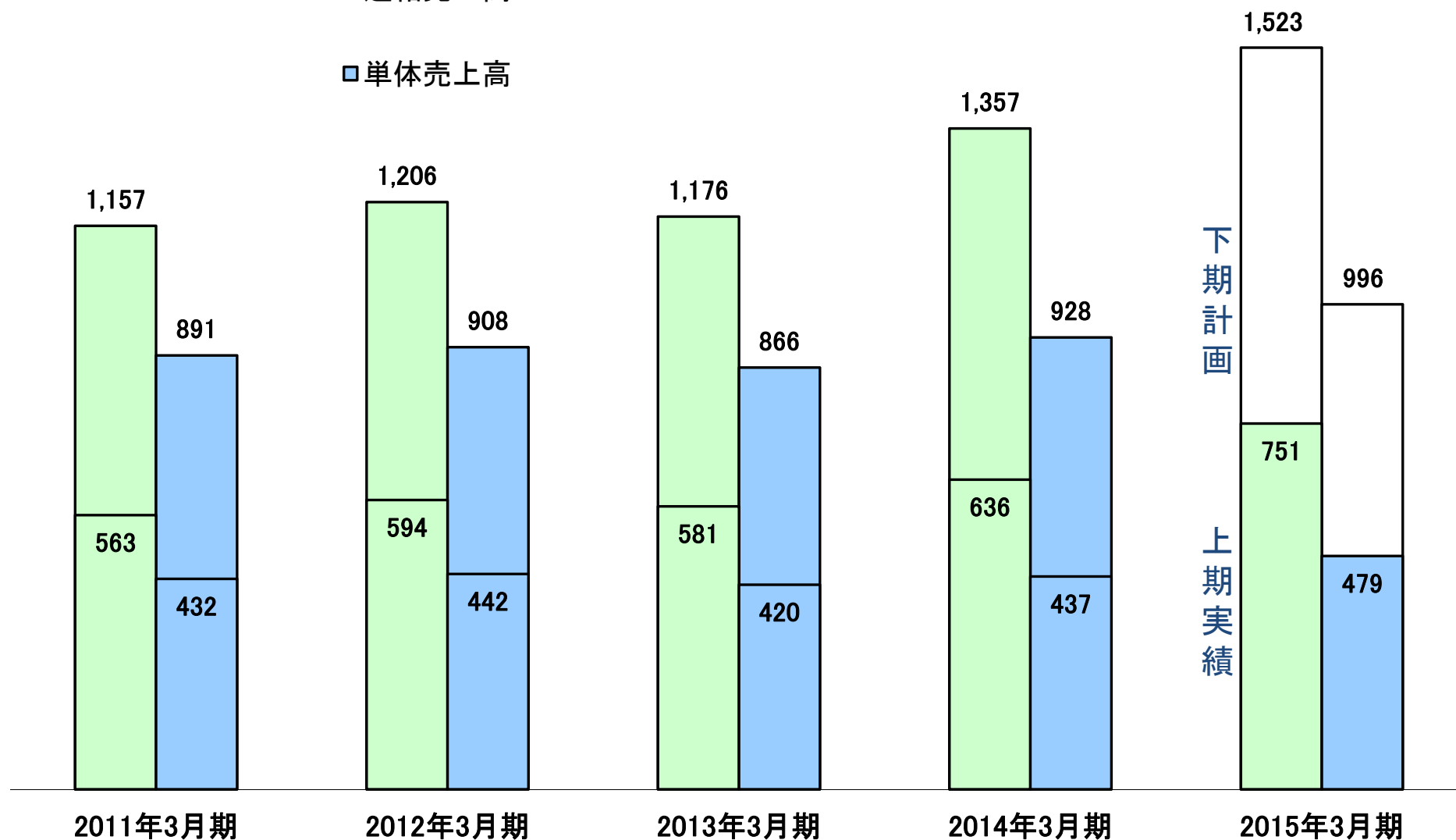
Ⅲ. 2015年3月期 業績予想

連結及び単体売上高予想

【単位：億円】

□ 連結売上高

□ 単体売上高



連結及び単体利益予想

連結決算予想

【単位:百万円】

	2015年3月期				2014年3月期 実績	通期予想対 前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	75,146	77,154	152,300		136,548	11.5%
営業利益	9,444	9,556	19,000	12.5%	20,080	▲5.4%
経常利益	10,230	10,370	20,600	13.5%	22,587	▲8.8%
当期純利益	6,843	6,657	13,500	8.9%	13,748	▲1.8%

単体決算予想

	2015年3月期				2014年3月期 実績	通期予想対 前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	47,988	51,612	99,600		94,133	5.8%
営業利益	8,132	8,668	16,800	16.9%	17,321	▲3.0%
経常利益	9,666	9,434	19,100	19.2%	19,932	▲4.2%
当期純利益	6,913	6,087	13,000	13.1%	12,333	5.4%

連結営業成績 主要会社8月開示(予想)と11月開示(予想)との差額

【単位:億円】

2014年8月開示 通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
MAC	67.5	3.6	3.8	2.4
MKK USA	139.3	▲1.2	▲1.4	▲1.3
MMX	13.7	1.6	1.5	1.0
SUNSCO (含Hanoi)	277.7	0.3	▲3.3	▲3.7
KUMA	30.9	2.6	2.7	1.8
アルファメタル	38.2	1.5	1.5	1.0
その他 国内子会社	19.0	13.1	16.6	10.9
持分法適用 関連会社			7.5	7.5
のれん代		▲0.7		
連結調整	▲36.5	3.2	▲12.9	▲13.5
合計	1560.0	198.0	213.0	138.0

今回開示 通期予想

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	996.0	▲14.0	168.0	▲6.0	191.0	▲6.0	130.0	▲2.0
MAC	65.4	▲2.1	3.6	+0.1	3.9	+0.1	2.3	▲0.1
MKK USA	131.4	▲7.9	▲4.5	▲3.3	▲4.7	▲3.3	▲3.4	▲2.1
MMX	13.4	▲0.3	1.6	+0.1	1.6	+0.1	1.1	+0.1
SUNSCO (含Hanoi)	262.9	▲14.8	▲1.6	▲1.9	▲3.5	▲0.2	▲3.8	▲0.1
KUMA	32.7	+1.7	2.5	▲0.1	2.4	▲0.3	1.6	▲0.2
アルファメタル	37.0	▲1.2	2.0	+0.5	2.1	+0.6	1.3	+0.3
その他 国内子会社	20.0	+1.0	15.4	+2.3	18.9	+2.3	12.4	+1.5
持分法適用 関連会社					6.4	▲1.1	6.4	▲1.1
のれん代			▲0.7	▲0.0				
連結調整	▲35.8	+0.7	3.6	+0.4	▲12.1	+0.8	▲12.9	+0.6
合計	1,523.0	▲37.0	190.0	▲8.0	206.0	▲7.0	135.0	▲3.0

通期連結損益予想

8月開示との差額主要因

【単位:億円】

	2014年8月7日 発表	今 見 直 し	回 し 差 額
売上高	1,560	1,523	▲37
営業利益	198	190	▲8
経常利益	213	206	▲7
当純利益	138	135	▲3

- 丸一鋼管 ▲14.0億円
- MAC ▲2.1億円
- M&K USA INC ▲7.9億円
- MMX ▲0.3億円
- SUNSCO(含Hanoi) ▲14.8億円
- KUMA +1.7億円
- アルファメタル ▲1.2億円
- 丸一鋼販 +1.0億円
- 連結調整(機械売上・関連帯鋼が主体) +0.7億円

- 丸一鋼管 ▲6.0億円
- MAC +0.1億円
- M&K USA INC ▲3.3億円
- MMX +0.1億円
- SUNSCO(含Hanoi) ▲1.9億円
- KUMA ▲0.1億円
- アルファメタル +0.5億円
- その他国内子会社 +2.3億円
- のれん ▲0.0億円
- 連結調整 +0.4億円

- 丸一鋼管 ▲6.0億円
- MAC +0.1億円
- M&K USA INC ▲3.3億円
- MMX +0.1億円
- SUNSCO(含Hanoi) ▲0.2億円
- KUMA ▲0.3億円
- アルファメタル +0.6億円
- その他国内子会社 +2.3億円
- 持分法適用関連会社 ▲1.1億円
- 連結調整 +0.8億円

- 丸一鋼管 ▲2.0億円
- MAC ▲0.1億円
- M&K USA INC ▲2.1億円
- MMX +0.1億円
- SUNSCO(含Hanoi) ▲0.1億円
- KUMA ▲0.2億円
- アルファメタル +0.3億円
- その他国内子会社 +1.5億円
- 持分法適用関連会社 ▲1.1億円
- 連結調整 +0.6億円

通期単体損益予想

8月開示との差額主要因

【単位:億円】

	2014年8月7日 発表	今回 見直し	差額
売上高	1,010	996	▲14
営業利益	174	168	▲6
経常利益	197	191	▲6
法人税等調整 前当期 純利益	203	198	▲5
当期 純利益	132	130	▲2

- 国内パイプ販売数量 ▲1.1億円
- 国内パイプ販売単価 ▲6.8億円
- 帯鋼販売数量 ▲2.6億円
- 帯鋼販売単価 ▲0.0億円
- 輸出パイプ +0.3億円
- 特品事業部 +0.3億円
- 関連帯鋼 +0.0億円
- 子会社向け機械売上・その他 ▲4.1億円

- 全体販売数量 ▲0.6億円
- 全体販売単価 ▲10.8億円
- 売上原価 +3.0億円
- 販売費及び一般管理費 +2.3億円

- 営業利益より ▲6.0億円
- 受取配当金・有価証券利息等 ▲0.2億円
- その他営業外収益 ▲0.5億円
- 営業外費用 +0.7億円

- 経常利益より ▲6.0億円
- 有価証券売却益 +0.4億円
- 固定資産除去費・撤去費 +0.2億円
- その他特別利益 +0.0億円
- その他特別損失 ▲0.1億円

- 税引前利益より ▲5.4億円
- 法人税等 +3.4億円

第3次中期経営計画の 進捗状況

【第3次中期経営計画の目標】（連結ベース）

（億円）

第3次計画 実績・見込	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 予想	2014年度 目標
売上高 (同海外比率)	1,176 (25.0%)	1,365 (29.4%)	1,523 (33.2%)	1,600 (35.0%)
営業利益 (同海外比率)	154 (0.6%)	201 (4.9%)	190 (0.9%)	200 (20.0%)
経常利益	175	226	206	220
純利益	106	137	135	120

第3次中期経営計画の4つの主要施策

詳細は57 ページ以降

1) 国内事業の更なる効率化推進

- ① 国内生産体制の再構築
- ② 国内営業体制の強化
- ③ 新規分野の展開
- ④ 省エネ・CO2排出量削減、災害に強い体制の構築

2) 海外売上の拡大と収益力の強化

- ① 高成長が期待できるアジア地区への投資の集中
- ② 海外生産シフトが本格化する自動車分野の強化
- ③ エネルギー関連製品の生産開始により、海外売上の拡大と収益力の強化

3) 海外人材の早期育成（グローバル化の基礎づくり）

- ① 本格化する海外展開に対応した人材の早期育成
- ② 現地人材の早期育成

4) 株主重視の資本政策の継続

高い株主還元率の維持

【国内工場】第3次中期経営計画トピックス

(2012年4月～2014年10月)

- 2012年8月 丸一鋼管(株)北上加工センター開設
丸一鋼販(株)北上営業所開設
- 2013年4月 詫間工場 メガソーラー発電所完成・売電開始
- 7月 堺工場・セイケイ 太陽光発電事業・売電開始
東京第二工場・第3製管 建屋完成
- 11月 東京第二工場・第3製管 太陽光発電事業・売電開始
- 2014年2月 堺工場コラム倉庫完成
- 3月 東京工場の東京第二工場への集約工事完了
- 5月 「東京第二工場」を新「東京工場」に名称変更
旧「東京工場」を「市川倉庫」に名称変更
- 7月 堺工場コラム倉庫・第4倉庫 太陽光発電事業・売電開始 NEW
- 8月 堺特品工場・東京工場第3倉庫屋根 太陽光発電事業・売電開始 NEW

【国内工場】新東京工場 誕生

2014年3月 集約工事完了

移転プロジェクト概要

東京外かく環状道路事業により、旧東京工場の一部が収用されることから、新東京工場内に新工場(第3製管工場)を建設し、移転集約

投資額:約 60億円

工場収用関連工事(工場建屋・厚生棟・造管機5機・スリッター)	55億円
福利厚生関連工事(寮・社宅)	5.5億円



新東京工場(旧東京第二工場) 航空写真



新第3製管工場(外観)

【国内工場】 新東京工場 概要

NEW

敷地面積	149,951平方メートル
建屋面積	79,658平方メートル 工場4棟、倉庫3棟 (内、新第3製管工場の面積は18,081平方メートル)
従業員	148人
設備	第1製管工場: 造管機4基、スリッター1基 第2製管工場: 造管機2基、カラー塗装ライン1基、スリッター1基 第3製管工場: 造管機5基、焼入れ設備3基、スリッター1基 第4製管工場: 造管機1基
月産能力	35,000トン

新東京工場の特徴

- ・生産・輸送効率の向上やコストを低減
- ・2か所での製品の積み合わせや横持ちなどの手間・時間のロスやコストの削減
- ・新設の設備に加え、移設した設備の大幅なリニューアルによる、製品の高品質化
- ・製品置き場の拡充



東京工場統合披露パーティ(2014年10月28日)



統合披露・工場見学(2014年10月28日)

【国内工場】 太陽光発電事業計画概要

設置拠点	: 国内工場7工場9拠点
投資額	: 25億円
発電量合計	: 10,078.5キロワット
予想年間発電量合計	: 約970万キロワットアワー
予想年間売電収入	: 約3.7億円
完成時期	: 2014年度中に全て完成予定

-  ...売電開始済
-  ...現在設置工事中

堺特品工場
 投資額 : 1億円
 最大出力 : 392.0kW
 予想年間発電量 : 376.0MWh

堺工場・第6工場 / セイケイ
 投資額 : 3億6,000万円
 最大出力 : 1,632.0kW
 予想年間発電量 : 1,650.0MWh

詫間工場
 投資額 : 5億3,000万円
 最大出力 : 2,016.0kW
 予想年間発電量 : 2,190.4MWh

堺工場・第4倉庫・コラム倉庫
 投資額 : 1億3,500万円
 最大出力 : 529.0kW
 予想年間発電量 : 511.0MWh

苫小牧工場
 投資額 : 6億円
 最大出力 : 2,171.0kW
 予想年間発電量 : 2,117.2MWh

東京工場・新第3製管工場
 投資額 : 3億3,000万円
 最大出力 : 1,478.4kW
 予想年間発電量 : 1,382.3MWh

東京工場・第3倉庫
 投資額 : 2億円
 最大出力 : 837kW
 予想年間発電量 : 738.4MWh

名古屋工場
 投資額 : 2億4,000万円
 最大出力 : 1,023.1kW
 予想年間発電量 : 783.3MWh

※苫小牧工場・名古屋工場含め
 全ての工場において
 売電に必要な手続きは完了済

【国内工場】 太陽光発電事業・利益の状況(2013年4月～2014年9月)

	詫間工場	堺工場・セイケイ(※)	東京工場(※)	堺特品工場	合計
稼働月数	1年6ヶ月	1年3ヶ月強	10ヶ月強	2ヶ月弱	—
発電量	4,457,670 kWh	2,761,387 kWh	1,886,947 kWh	77,618 kWh	9,183,622 kWh
売電収入	17,831 万円	11,045 万円	6,660 万円	279 万円	35,815 万円
経費	9,804 万円	6,310 万円	4,120 万円	208 万円	20,442 万円
(内:償却費)	9,338 万円	5,954 万円	3,896 万円	198 万円	19,386 万円
利益	8,027 万円	4,736 万円	2,540 万円	71 万円	15,374 万円
稼働開始時期	2013年4月	2013年6月後半	2013年11月後半	2014年8月前半	—

※上記のうち、堺工場・セイケイには堺工場第4倉庫・コラム倉庫(2014年7月後半稼働)、東京工場には東京工場第3倉庫(2014年8月より稼働)を含む。



堺工場・セイケイ



東京工場



堺特品工場

【アルファメタル社】

設立：2002年9月1日 所在地：福岡県宮若市

事業内容：自動車部品及び太陽光発電架台等
製作・販売

資本金：3億円 従業員：143名(H26.3末現在)

敷地面積：32,788.13m²

建物面積：7,590m²

※五葉山の太陽光発電事業 納入工事中(20メガワット)

※メキシコで自動車部品加工事業 **NEW**
(ALPHAMETAL MEXICO S.A. de C.V.)を新たに展開



アルファメタル社外観



太陽光発電架台施工事例

(単位:株)

【業績の推移】

(百万円)

	売上高	経常利益
2010年3月	4,149	▲3
2011年3月	4,569	76
2012年3月	4,848	115
2013年3月	5,051	134
2014年3月	4,649	96
2015年3月(見込)	3,701	210

【株主の状況】

	2009年 増資前	2010年 3月増資	2010年 3月末	2010年 6月増資	2012年 3月末
丸一鋼管	80	80	80	80	80
九州丸一鋼管	0	1,170	1,245	5,245	5,530
メタルワン	40	40	390	390	390
個人	280	710	285	285	0
合計	400	2,000	2,000	6,000	6,000
資本金	2,000万円	1億円	1億円	3億円	3億円

【海外】第3次中期経営計画トピックス（2012年4月～2014年12月）

2013年4月 MARUICHIMEX社(メキシコ) 開所式

LEAVITT社(米国) 自動車向けの0.5インチミルを導入

6月 MMP社(中国)佛山 自動車向けの2.5インチミルを追加設置

SUNSCO社(ベトナム) 第2カラー鋼板ライン(第2CCL)商業運転開始

8月 LEAVITT社(米国) APIラインパイプ向けにW80ミルを改造

ISTW社(インドネシア) ジャカルタに新工場完成

9月 SUNSCO社(ベトナム) 第2連続溶融亜鉛めっきライン(第2CGL)商業運転開始

2014年4月 LEAVITT社(米国) 米石油協会規格(API)のモノグラム取得

8月 メキシコ Alphametal Mexico S.A. de C.V.を設立・生産開始

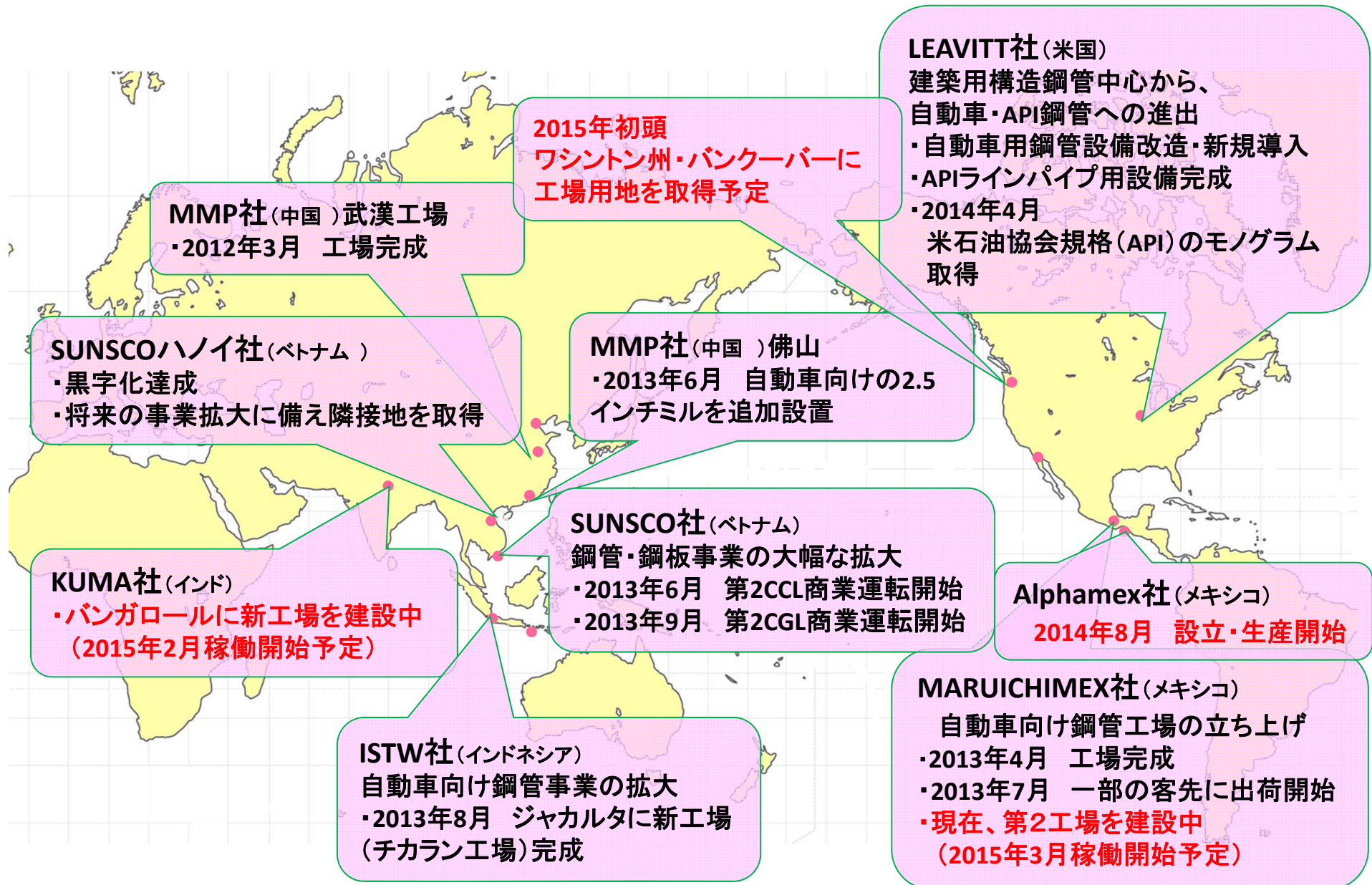
NEW

今後の予定

- ・2015年初頭 米国北西部、ワシントン州バンクーバー市に工場用地を取得予定
- ・2015年2月 KUMA社(インド) バンガロール工場 稼働開始予定
- ・2015年3月 MARUICHIMEX社(メキシコ) 第2工場 稼働開始予定

NEW

【海外】第3次中期経営計画の進捗状況



【ベトナム】第3次中期経営計画 SUNSCO社の第2CGL/CCL完成

第2連続溶融亜鉛めっきライン(第2CGL)

2013年9月 商業運転開始
 板巾:MAX4'、板厚:0.3~3.2mm、
 能力:約2万3千トン/月

※高品質対策を強化。3.2mmまでの厚物めっき鋼板や、
 冷延・熱延原板の溶融亜鉛めっき鋼板など、
 更に幅広い需要に対応。

現在、55%AL-Zn
 めっき製品を中心に
 毎月約1万2千トンの
 生産を行っている。



第2CGL ロールコーター・ルーパー

第2カラー鋼板ライン(第2CCL)

2013年6月 商業運転開始
 板巾:MAX4'、板厚:0.2~1.2mm、
 能力:約8千トン/月

※生産効率及び品質が向上。今後は、
 建築用途以外の製品も生産予定。



第2CCL 入り側ルーパー

総工費 : US100百万ドル
 資金調達 : 借入金 US80百万ドル、
 自己資金 US20百万ドル

2013年12月 現地で第2CGL/CCL完成披露を開催



第2CGL/CCL完成披露(2013年12月)

【ベトナム】第3次中期経営計画 SUNSCO社 鋼管・鋼板事業の大幅な拡大

小径管設備の移設・改修工事

投資金額 : US8百万ドル

2014年3月 2インチミル稼働

2014年9月 4インチミルHot・Run

機械構造用鋼管・配管用鋼管・一般構造用鋼管の生産能力と品質の向上が目的。日系ユーザー、米国のASTM規格にも対応が可能となる。足場管も生産しており、今後生産予定の電線管は、日本からの輸出分を移管。



2インチミル・4インチミル

【SUNSCO社 業績の推移 (含Hanoi)】

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	165	▲ 25	▲ 30
2009年12月	117	1	0
2010年12月	158	4	0
2011年12月	174	▲ 4	▲ 4
2012年12月	161	▲ 3	1
2013年12月	205	2	6
2014年12月 見込	256	▲ 2	▲ 4

【資本金及び持株状況の推移】

	日本側				台湾側	資本金 (単位: 百万US\$)	備考
	丸一鋼管	豊田通商	JFEスチール				
2006年8月	9.0%	0.0%	9.0%	—	91.0%	41.9	
2006年11月	45.4%	35.3%	10.1%	—	54.6%	74.4	資本参加
2008年8月	59.3%	50.2%	9.1%	—	40.7%	82.2	台湾株主より株式譲受け
2010年2月	82.0%	64.3%	9.7%	8.0%	18.0%	130.0	JFEスチール←丸一鋼管
2013年8月	90.2%	72.5%	9.7%	8.0%	9.8%	130.0	台湾株主より株式譲受け

【中国】MMP社の事業拡大

【第3次中期経営計画の主要施策(中国)】

- ①日系自動車メーカーの生産拡大への対応
2013年6月 佛山で自動車向けの2.5インチミルを追加設置
- ②アルファメタル社との協働による部品加工事業の拡大

【武漢工場の概要】

所在地 : 中華人民共和国湖北省
武漢市華頂机电工業団地

敷地面積 : 約5,500㎡

工場完成 : 2012年3月

設備概要 : 切断機3台、面取機1台、焼入設備1台、

投資金額 : 27,000,000RMB(約330百万円)



武漢工場



丸一金属制品(佛山)有限公司



丸一金属制品(天津)有限公司

【米国】 Leavitt/シカゴ工場 拡充計画

●建築用鋼管分野

2011年1月 W80(12インチ)ミル改造(US\$12百万)
クイックロール交換システムの導入
【ロール交換時間の短縮 6時間→3時間】

2012年1月 W50(5インチ)ミル更新(US\$15百万)

●自動車用鋼管分野

2012年2月 2インチミル新設(US\$3百万)

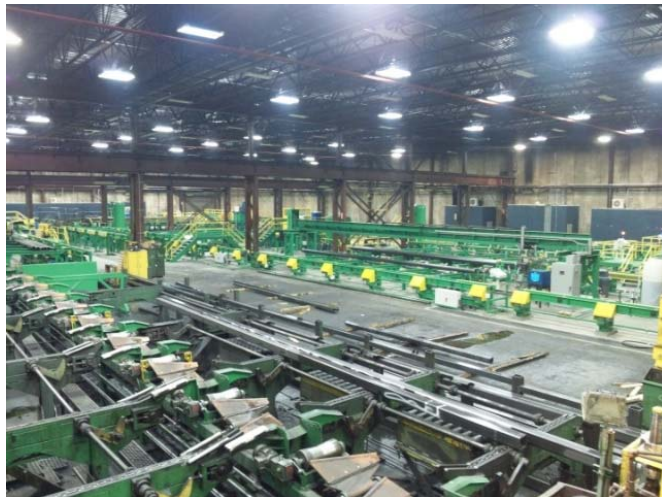
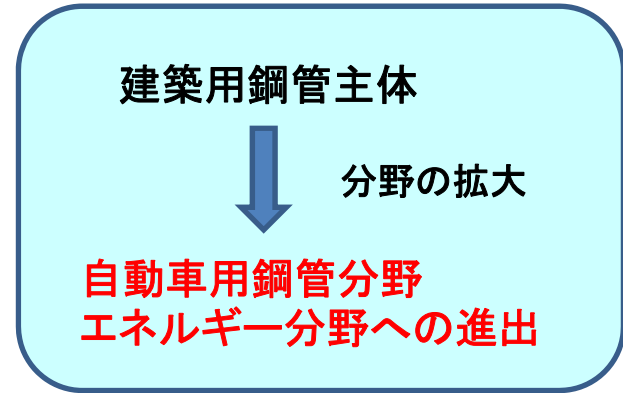
2013年4月 0.5インチミル導入(US\$3百万)

●APIラインパイプ分野 **米国北東部のシェールガス開発でマーケット拡大を見込む。**

2013年8月 W80ミル改造(US\$20百万)

約5,000トン/月の余剰能力で、ラインパイプを製造可能なラインに改造

2014年4月 米石油協会規格(API)のモノグラム取得



W80 12インチミル



0.5インチミル

【米国】 Leavitt/シカゴ工場 拡充計画②

【業績の推移】

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	229	14	13
2009年12月	68	▲ 11	▲ 10
2010年12月	68	3	3
2011年12月	94	4	4
2012年12月	107	▲ 1	▲ 2
2013年12月	113	1	1
2014年12月 見込	128	▲ 4	▲ 4



Leavitt社 航空写真

2013年7月
MKG・USA・インクをUS \$ 20百万増資し、
その資金によりLeavitt社をUS \$ 20百万増資

【株主の状況】

	MKG・USA・インク (丸一鋼管)	住友商事
2008年5月	60.0%	40.0%
2013年7月	74.7%	25.3%

【米国】 Maruichi American Corporation (MAC社) の業績

【業績の推移】

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2009年12月	41	0	0
2010年12月	47	2	3
2011年12月	65	5	5
2012年12月	69	3	3
2013年12月	66	2	2
2013年12月 見込	64	3	3

・株式の保有割合 (2014年3月現在)

丸一鋼管	:	53%
メタルワン	:	30%
丸一鋼販	:	8%
三菱東京UFJ銀行	:	5%
三井住友銀行	:	4%



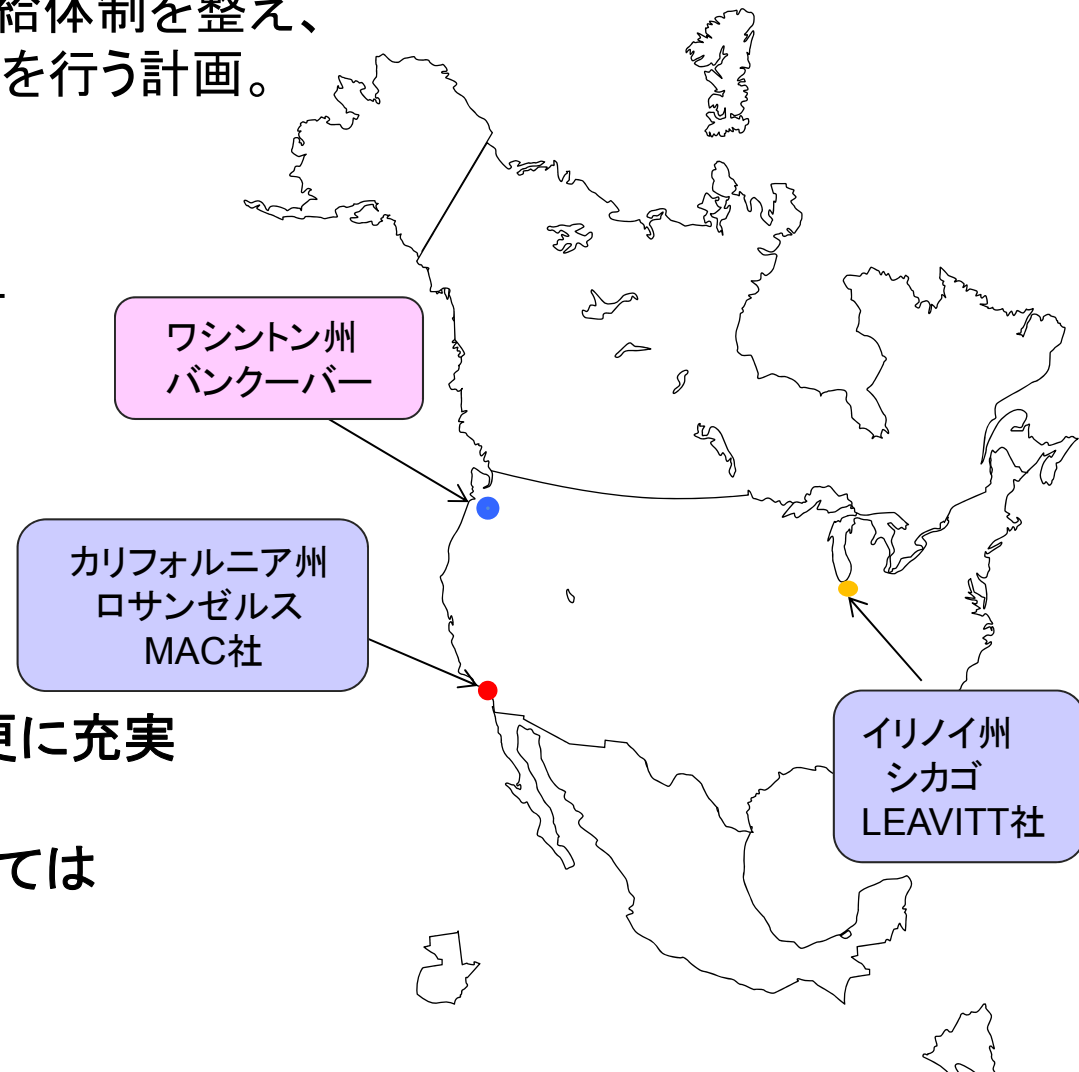
MAC社 航空写真

【米国】米国北西部に新工場の建設を計画

NEW

米国北西部に新たに鋼管工場用地を取得予定
 →同地区の既存ユーザーへの供給体制を整え、
 カナダを含めた新規顧客の開拓を行う計画。

取得予定地 : ワシントン州
 バンクーバー市
 取得予定面積 : 38,850m²
 取得予定額 : 250万米ドル
 取得予定時期 : 2015年初頭



- ・米国内での需要地生産体制を更に充実
- ・工場概要・操業開始時期については
 2014年中に決定予定

【メキシコ】自動車向け事業の拡大

MARUICHIMEX S.A. de C.V.社 (MMX社)概要

場所	アグアスカリエンテス州
設立	2012年1月
事業内容	自動車向け鋼管の製造・販売
資本金	US \$ 2,080万相当
工場敷地面積	30,000㎡
工場面積	6,000㎡(新第2工場 7,500㎡)
設備	造管機2台・切断機4台(第1期)
完成	2013年4月

- ・現在、造管機2基で月間400～500トン生産
- ・第2工場を建設中(2015年3月稼働開始予定)

【資本金及び持株状況の推移】

	MAC	MKK USA	伊藤忠 丸紅鉄鋼	豊田通商	資本金 (単位:百万US\$)	備考
2012年1月	60.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.5	
2014年1月	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.8	増資 MAC・MKKUSA各30%へ

※2014年度第1四半期より連結子会社化

NEW

【業績の推移】

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2013年12月	1	▲ 1
2014年12月 見込	13	1



MMX社

【メキシコ】自動車部品用鋼管の2次加工事業の開始

NEW

- 会社名 : ALPHAMETAL MEXICO S.A. de C.V(以下Alphamex)
- 所在地 : アグアスカリエンテス州
- 出資者 : アルファメタル:50%、MKK USA:25%、MMX:25%
- 事業内容 : メキシコ国内外の自動車部品メーカー向け鋼管加工事業
- 資本金 : MX\$13百万(約US\$1百万)
- 工場 : 約1,400 m²
- 設備概要 : プレス機3台、ベンダー機2台、切断面取り機1台等
- 従業員数 : 約15名 生産開始 : 2014年8月

MMX及びAlphamex所在地



プレス機



【インド・インドネシア】第3次中期経営計画通り、自動車向け鋼管事業の拡大を推進

インドでの鋼管事業の拡大

MARUICHI KUMA社
二輪車・四輪車向けのステンレス鋼管を生産

KUMA社
マネサール工場
(ニューデリー近郊)
設備: 2インチミル
1インチミル



KUMA社バンガロール工場 **NEW**
敷地: 12,000㎡
建屋: 8,700㎡
※2インチミルを導入し、
ステンレスパイプを生産予定。
現在建設中(2015年2月稼働開始予定)

【業績の推移】

(単位: 百万US\$)

	売上高	当期税前利益
2011年3月	23	3
2012年3月	27	3
2013年3月	30	3
2014年3月	31	2
2015年3月 見込	32	2

インドネシアでの鋼管事業の拡大

2013年8月 ISTW社新チカラン工場が完成

投資額 : 16億円
工場敷地面積 : 50,000 ㎡
工場面積 : 12,000㎡
設備 : 造管機1台、切断機



ジャカルタ東部 新チカラン工場

3. 海外人材の早期育成(グローバル化の基礎づくり)

- ・ 2012年より新入社員の海外研修を導入 (3年間:計20名)
- ・ 2013年4月 生産技術教育部長を任命 ※海外を含むグループ全社の鋼管製造のスキルアップを図る

国内人材の積極的海外派遣・現地人材の早期育成、登用、技術移転の促進

日本からの短期海外研修派遣人数 (単位:人) ベトナムから日本への短期／長期研修生派遣人数 (単位:人)

	派遣先	参加人数
2004	中国	26
2005	韓国	27
2006	中国	37
2007	ベトナム	32
2008	インドネシア	36
2009	ベトナム	28
2010	中国	24
2011	ベトナム	28
2012	中国	中止
2013	ベトナム	29
2014	ベトナム	20
合計	—	287

	短期研修生	長期研修生
2006	0	4
2007	2	0
2008	1	4
2009	0	3
2010	7	2
2011	8	4
2012	12	14
2013	12	0
2014	5	0
合計	42	27

4. 株主重視の資本政策の継続

高い株主還元率の維持

(()内は一株当たり配当:円 単位:百万円)

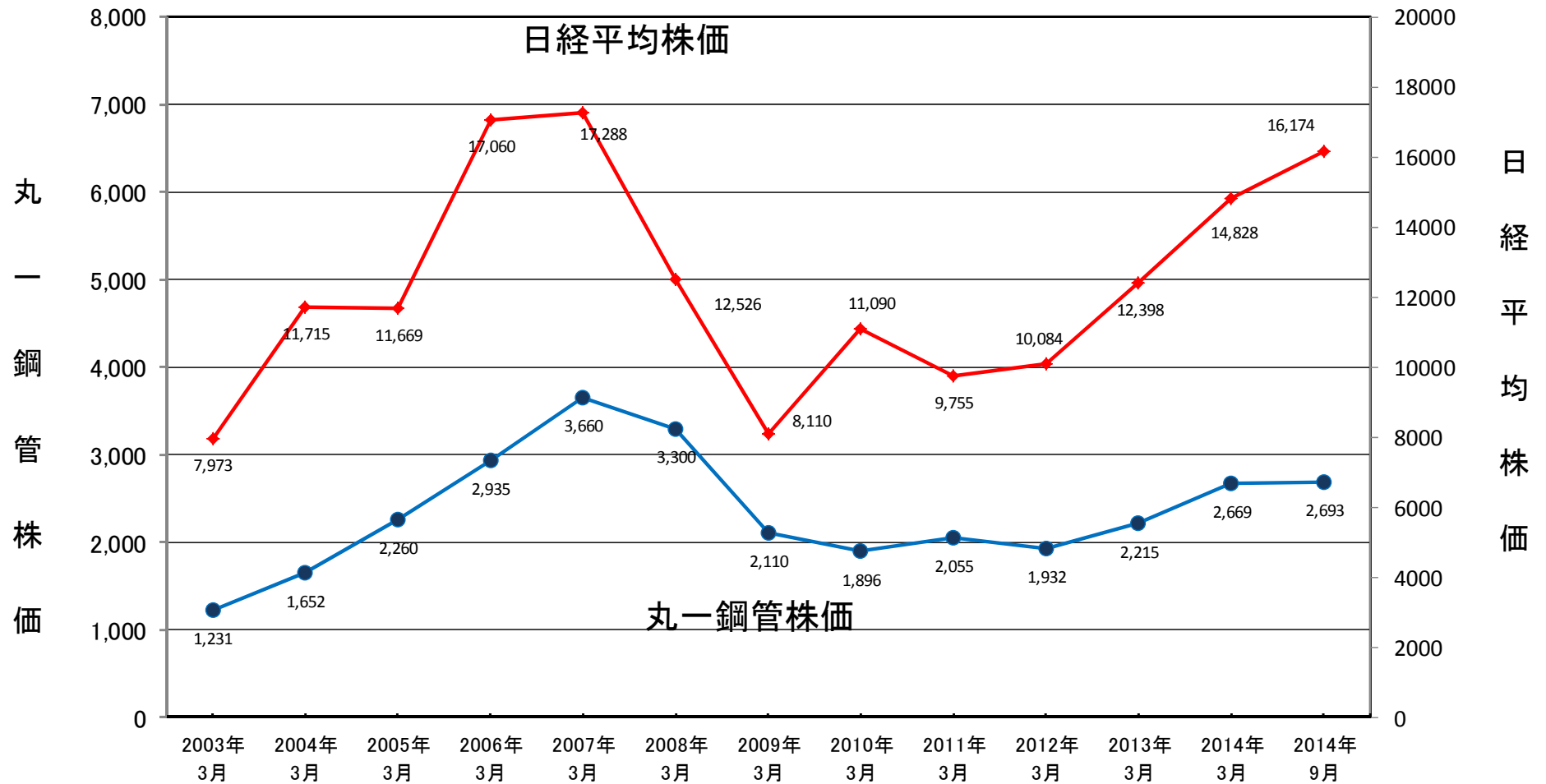
	中間配当額	期末配当額	年間配当額	当期純利益	自社株買 株数/金額	配当性向	総還元率
2013年3月期	(20.00) 1,694	(41.50) 3,516	(61.50) 5,210	9,717	500,000株 763	53.6%	61.5%
2014年3月期	(25.00) 2,118	(48.50) 4,110	(73.50) 6,228	12,332	—	50.5%	45.3%
2015年3月期見込	(25.00) 2,118	(48.00) 4,067	(73.00) 6,185	13,000	—	47.6%	47.6%
3年間合計見込	5,930	11,693	17,623	35,049	500,000 株 763	50.3%	52.5%

【配当政策の見直し】

平成27年3月期から、法人税の実効税率の変更に伴い、個別損益計算書における経常利益の **62.2%** から **64.6%** に変更して、当期利益を算出し、その(みなし当期利益)50%相当額を年間配当(最低年間30円)とする方針へ変更

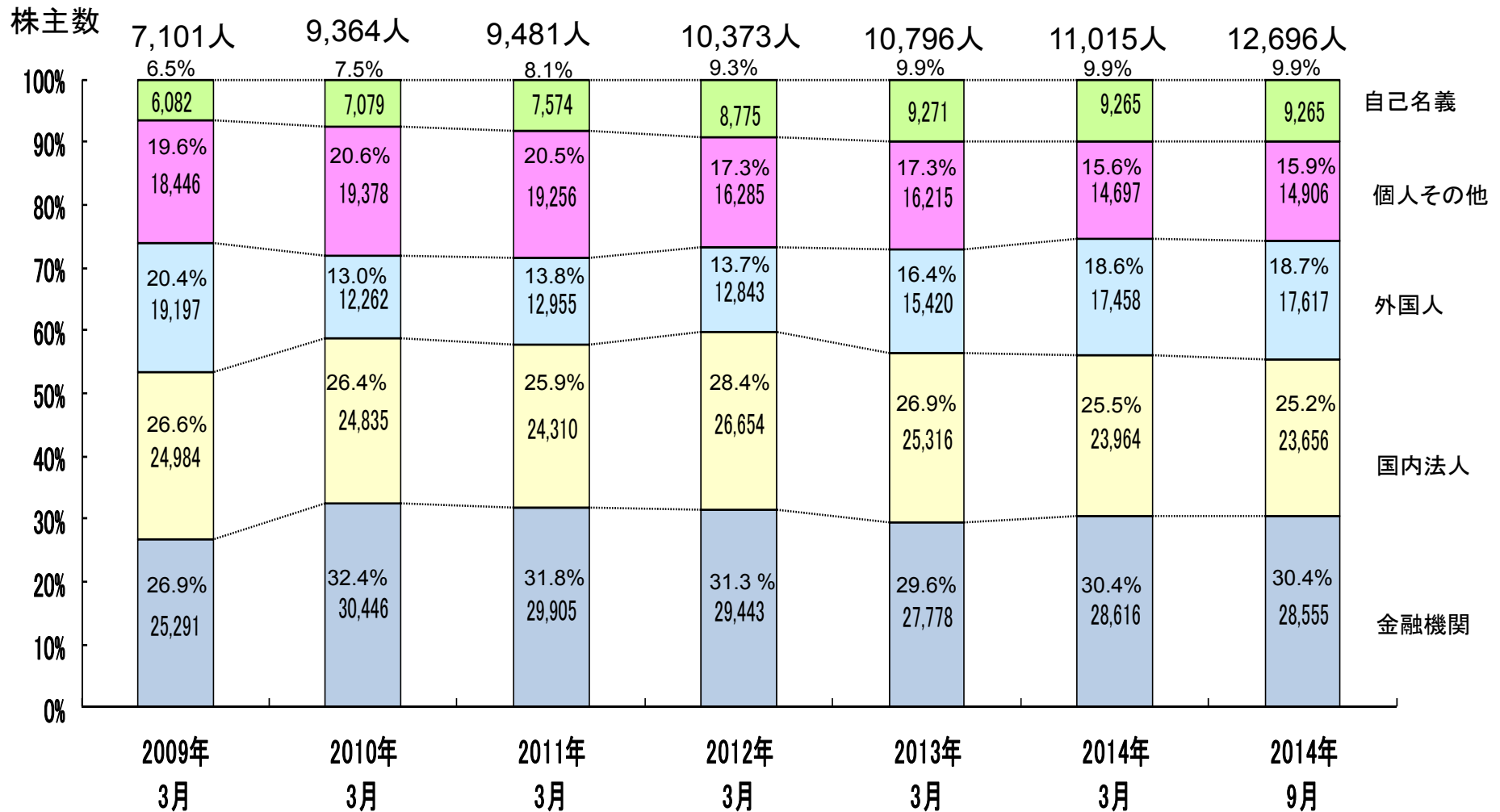
(参考)株価の動き 月末終値ベース

(単位:円)



(参考)株主構成変化

(数値は株数)
(単位:千株)



2005年10月より単元株を100株へ引き下げ
2008年4月 自己名義株のうち、426万株を消却

V. 丸グループの特徴

1. 経営理念

- わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。

2. 国内生産・販売体制

- 本社
- 事務所・営業所
- 工場
- 倉庫・パイプセンター
- グループ企業



海外生産拠点

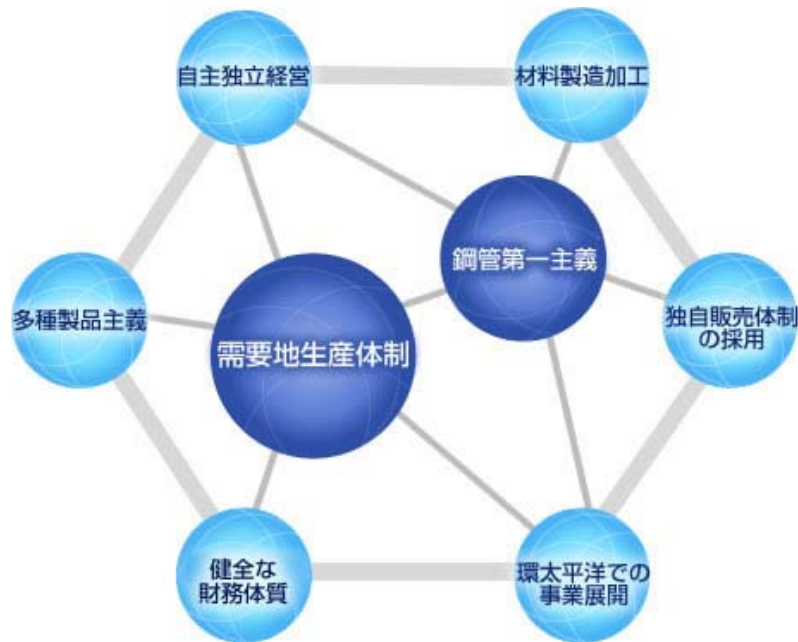
アジア

- 丸一金属製品(天津) 有限公司(中国)
- 丸一金属製品 武漢工場(中国)
- 丸一金属製品(佛山) 有限公司(中国)
- SUNSCO(ハノイ)社 (ベトナム)
- SUNSCO社 (ベトナム)
- J-スパイラル社 (ベトナム)
- ISTW社チカラン工場 (インドネシア)
- ISTW社ジャカルタ工場 (インドネシア)
- ISTW社セマラン工場 (インドネシア)
- KUMA社(インド)

米州

- MAC社 (アメリカ)
- Leavitt社 シカゴ工場 (アメリカ)
- MARUICHIMEX社 (メキシコ)
- Alphamex社 (メキシコ) 2014/8生産開始

4. 特色



需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 11 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

材料製造加工

詫間工場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

5. 沿革

1926	大正15年	自転車部品製造の丸一製作所を発足	1978	昭和53年	アメリカ MAC社を設立
1935	昭和10年	自転車鋼管の製造を始める	1989	平成元年	詫間工場を新設
1940	昭和15年	丸一鋼管工場と改称	1995	平成7年	鹿島特品工場を新設
1947	昭和22年	株式会社丸一鋼管製作所を設立	1998	平成10年	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を 苫小牧工場に統合
1956	昭和31年	大阪出張所を改組し、丸一鋼管株式会社を設立	2000	平成12年	新広島事務所・倉庫完成
1957	昭和32年	大阪工場を新設	2001	平成13年	詫間工場に焼鈍設備を新設
1958	昭和33年	東京事務所を開設 米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を 輸入し、電縫管メーカーに転換	2002	平成14年	東京第二工場新倉庫を建設
1960	昭和35年	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設	2003	平成15年	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設
1961	昭和36年	東京工場を新設	2005	平成17年	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承
1962	昭和37年	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場	2006	平成18年	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国 MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム SUNSCO社へ出資
1964	昭和39年	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設	2007	平成19年	名古屋工場0.5インチミル増設 堺工場 第6工場の新設 設備稼働 詫間工場 メッキ炉改造工事 酸洗ライン トリミング設備設置
1965	昭和40年	堺工場を新設	2008	平成20年	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了
1966	昭和41年	名古屋工場を新設(昭和59年現名古屋工場へ統合) 広島事務所を新設	2009	平成21年	インド KUMA社 子会社化 セイケイ 堺製造所 稼働
1970	昭和45年	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設	2010	平成22年	アルファメタル 連結子会社化 SUNSCO社 16インチミル増設 SUNSCO社 HANOI社 操業開始 ベトナム J・スパイラルスチールパイプ社へ出資
1971	昭和46年	インドネシア ISTW社を設立	2011	平成23年	中国 MMP天津社 稼働 東京第二工場 ステンレス鋼管工場を新設 堺特品工場 第2工場を増設
1972	昭和47年	特品工場を新設 大阪事務所を開設	2012	平成24年	中国 MMP社 武漢工場新設 東京第二工場 第3工場を新設 メキシコ MARUICHIMEX社設立
1973	昭和48年	東京工場第二工場を新設	2013	平成25年	詫間工場 メガソーラー発電所 稼働 SUNSCO社 第2CGL・CCL稼働
1974	昭和49年	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立	2014	平成26年	東京工場 集約完了 MMX社 連結子会社化
1977	昭和52年	名古屋第二工場(現名古屋工場)を新設			
1978	昭和53年	本社を大阪市西区北堀江の現在地に移転			

(参考資料) 第3次中期経営計画 主要施策(国内)

<p>1.国内事業の更なる効率化推進</p>	<p>①旧東京工場の新東京工場への集約</p> <p>②国内余剰設備の海外への移設</p> <p>③設備・人員・人材の適正な配置</p>	<p>P.30 ~P.31</p>
<p>②国内営業体制の強化</p>	<p>①グループ販売力の強化</p> <p>②震災復興需要への積極的取組 特品事業部 : 仙台特品課開設 丸一鋼販 : 岩手県北上営業所開設 関東地区でのコラム在庫、切断開先加工、販売強化</p>	
<p>③新規分野の展開</p>	<p>①ステンレス鋼管分野への参入 (東京第2工場のステンレス鋼管ラインをマザーラインとして海外事業を支援)</p> <p>②太陽光発電への取り組み カソーラー発電事業化検討(詫間工場) 及び架台加工・工事への参画</p> <p>③東洋特殊鋼業を通じた異型管分野への進出</p>	<p>P.32 ~P.33</p>
<p>④省エネ、CO₂排出量削減、 災害に強い体制の構築</p>	<p>①節電、CO₂削減への積極的対応、 液状化・津波対策</p>	

主要施策(海外)①

<p>2) 高成長が期待できるアジア地区への投資の集中、 海外生産シフトが本格化する自動車分野の強化、 エネルギー関連製品の生産開始により、 海外売上の拡大と収益力の強化</p> <p>① ベトナム: SUNSCO鋼管、鋼板事業の大幅な拡大</p> <p>② 中国: MMPの事業拡大</p> <p>③ 米州: Leavittの自動車、API向け事業の展開 MACの新たな事業拡大 メキシコでの自動車向け事業立ち上げ</p>	<p>① 16インチミルによるAPI事業の本格的展開、ベトナム国内の建材需要の創造</p> <p>② 第2CGL/CCLの立上げの成功</p> <p>③ 安定操業による設備稼働率の向上及び生産量の拡大</p> <p>④ ハノイの二輪車向け業務の本格化による黒字化及びステンレス鋼管の現地生産開始</p> <p>⑤ JIS取得による日系企業向け鋼管・鋼板製品の生産販売拠点としての役割</p> <p>① 日系自動車メーカーの生産拡大への対応</p> <p>② アルファメタル社との協働による部品加工事業の拡大</p> <p>① Leavitt: 建築用構造鋼管中心から、自動車・API用鋼管への進出による経営基盤の強化と収益力の向上</p> <p>① MAC: 設備更新。西海岸でのシェア拡大</p> <p>① メキシコでの自動車向け鋼管工場の立上げ(Maruichimex)</p>	<p>P.37 ~P.38</p> <p>P.39</p> <p>P.40 ~P.41</p> <p>P.42 P. 44 ~P.45</p>
--	---	---

主要施策(海外)②

<p>④インド:バンガロール工場の立ち上げ、自動車向け普通鋼鋼管事業の開始</p>	<p>①自動車向けステンレス鋼管での圧倒的シェアの維持</p> <p>②日系自動車メーカー向け普通鋼鋼管製造による事業分野の拡大</p>	<p>P.46</p>
<p>⑤インドネシア:自動車向け鋼管事業の拡大</p>	<p>①日系自動車メーカーの進出本格化への対応</p> <p>鋼管現地調達ニーズへの積極的対応</p>	<p>P.46</p>
<p>⑥日系自動車メーカーの海外シフトに対応した新たな展開の検討</p> <p>⑦東洋特殊鋼業の海外事業強化</p> <p>⑧海外現地法人の管理強化</p> <p>⑨オーストラリア/ATM社とのアライアンス強化</p>	<p>①中国/インドネシア/インドでの体制拡充と米国での自動車向け生産の開始、メキシコへの進出</p> <p>②アルファメタルの部品加工技術の海外事業での活用</p> <p>③国内外一体となった営業体制 海外進出情報の早期把握と海外現地法人との協働による海外取引の獲得</p> <p>④自動車向けステンレス鋼管事業の新規展開</p> <p>⑤鋼管事業での“Maruichi”ブランドの活用:Leavitt/SUNSCOの社名に“Maruichi”を追加検討</p> <p>①中国事業の支援・強化及び他海外地域での展開検討</p> <p>①海外現地法人の管理システムの早期完成(SUNSCO、KUMA)</p> <p>②KUMA、メキシコ新会社の連結子会社化</p> <p>③海外現地法人からの配当・ロイヤリティーによる本社への収益還元</p>	

主要施策(その他)

<p>3) <u>海外人材の早期育成(グローバル化の基礎づくり)</u></p> <p>①本格化する海外展開に対応した人材の早期育成</p> <p>②現地人材の早期育成</p>	<p>①若手人材の積極的海外派遣。語学研修やトレーニーの海外派遣</p> <p>②「海外で活躍できる」人材の育成</p> <p>.....</p> <p>①現地人材の早期育成、登用、技術移転の促進</p>	<p>P.47</p>
<p>4) <u>株主重視の資本政策の継続</u></p>	<p>①高い株主還元率の維持</p>	<p>P.48</p>

丸一鋼管グループの方向性について

1. 今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて不断の努力を続けて参る所存です。そして、我々は、鋼管業界においてグローバルで見て質・量共に世界でもトップと言える企業集団へ成長発展を続けて参ります。
2. 今年度は第3次中期経営計画の最終年度になります。大きく変化し続ける国内外の経営環境に、タイムリーかつフレキシブルに対応することで国内外での力強い成長を目指し、グループ一丸となって取り組んで参ります。

注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。